

7月の京都学ラウンジ ミニ講座共催特別企画

シベリア抑留、引揚から舞鶴への生還

—ユネスコ世界の記憶(世界記憶遺産)登録5周年記念—

◆開催日：7月9日・16日・30日・8月6日 毎回木曜日

◆時間：13:30～14:30(60分) 8月6日 13:30～15:30(120分)

◆場所：小ホール(定員50名) 申込不要/無料

平成27年に舞鶴引揚記念館所蔵資料である白樺日誌など570点の資料が、「舞鶴への生還」として当館所蔵の「東寺百合文書」と共にユネスコ世界の記憶(世界記憶遺産)に登録されました。今年で登録から5周年となるのを記念して、府立京都学・歴彩館での連続講座を開催いたします。

講座では、第2次世界大戦の終結により、シベリアに抑留されていた多くの引揚者を国内最後まで温かく迎え入れた舞鶴港とシベリア抑留の史実、そして抑留の記憶を次世代へ継承する引揚記念館の取り組みなどを紹介します。

第1講 引き揚げと抑留と舞鶴港

舞鶴引揚記念館学芸員 長嶺 睦

第2講 抑留を伝える記憶遺産～舞鶴への生還～

同

長嶺 睦

第3講 史実の継承 世界へ未来へ

同

長嶺 睦

舞鶴市国際交流員 レ・アルトゥル

第4講 次世代へ語り継ぐ世界の記憶(世界記憶遺産)登録5周年特別企画

「東寺百合文書」と「舞鶴への生還」

13:30～15:30(120分)

歴彩館資料課 若林 正博/舞鶴引揚記念館学芸員 長嶺 睦

高校生報告 京都会場側

府立鴨沂高等学校京都文化コース生徒

WEB高校生報告 舞鶴会場側

舞鶴引揚記念館高校生語り部

「ユネスコ世界の記憶(世界記憶遺産)登録5周年 特別パネル展示 世界へ未来への継承」

◆場所 府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ

◆日時 令和2年7月9日(木)～8月6日(木)
10時～16時(土日は12時～14時まで閉室)

【 内 容 】

第2次世界大戦後にソビエト連邦によって、シベリアに抑留され、戦後も森林伐採や鉄道敷設など過酷な重労働に従事した人々がいました。

彼らは支給された食糧が1日黒パン1枚の日もあり、栄養不足の中、冬季は零下30度を下回るシベリアの収容所での抑留生活を送りました。

そのような生活を思い起こした絵画、家族や故郷への思いを紙の代わりに白樺の皮に和歌でつづった「白樺日誌」やメモ帳などを紹介し、抑留者を温かく迎え入れた舞鶴についても、パネルで紹介します。